

- 問1 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣して全国を直接統治した改革が行われたのは何年？
- 問2 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？
- 問3 明治初期、全権大使として欧米へ渡り、帰国後は国内の近代化を優先する政策を進めた人物は誰？
- 問4 地租改正の際、土地の所有者に発行され、所有権を証明するために使われた書類を何という？
- 問5 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？
- 問6 明治政府の新しい政策や税制度に対して、不満を持った農民たちが集団で起こした反乱や抵抗運動を何という？
- 問7 明治政府が国家の統一を図るため、地方の権限を政府の中心に集中させた体制を何という？
- 問8 1868年に五箇条の御誓文を神に誓う形式で発表した当時の天皇は誰？
- 問9 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣することで地方支配を強化した明治政府の政策を何という？
- 問10 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？
- 問11 欧米諸国に並ぶ国力を養うために明治政府が掲げた、国力を高める政策の合言葉を何という？
- 問12 学制において、学校教育を受ける対象とされた人々を指す言葉は？
- 問13 県令とともに地方を直接統治する役割を担った、府を統治する役職を何という？
- 問14 戊辰戦争の舞台となった、北海道にある都市の名前は？
- 問15 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返したことを何という？
- 問16 19世紀後半、欧米列強がアジアに進出する中で、日本が維持しようとした国家の状態を何という？
- 問17 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？
- 問18 明治政府が士族に対して禁止した、身分を象徴する武器の所持を何という？
- 問19 明治政府が廃藩置県を実施した年は何年？
- 問20 明治政府が近代化のために進めた、産業を興して生産力を高めようとする政策を何という？
- 問21 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 1871年	1871年、明治政府は断固とした姿勢で廃藩置県を断行しました。従来の藩をすべて廃止して県を設置し、中央から知事を派遣することで、国家が直接国民を統治するシステムを確立しました。この改革により、江戸時代から続いた大名による領主制が完全に終わりを迎えました。
問2	答え 一揆	この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起こりました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。
問3	答え 岩倉具視	1871年に岩倉具視を全権大使とする使節団が派遣されました。帰国後の岩倉は、海外渡航で痛感した日本の遅れを挽回するため、性急な対外拡大を控え、国内の近代化と富国強兵を優先する方針を確立しました。
問4	答え 地券	1873年の地租改正で、政府は土地所有者に地券を交付しました。これに基づき、地価の3%を現金で納税する仕組みとなりました。この制度は、税収を予測可能にする画期的なものでした。
問5	答え 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川将軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問6	答え 一揆	これらの急激な社会変革に対し、農民たちは「一揆」を起こして学校を焼き払ったり、役所を襲撃したりして不満を表明しました。特に新制度導入直後の混乱期には、各地でこうした抵抗運動が多発しました。
問7	答え 中央	中央集権とは、政府の中枢が地方に対しても強力な支配権を持ち、全国一律の制度で統治する体制です。廃藩置県により藩を廃止して県を置いたことで、中央政府が任命した知事が地方を治める形が整いました。
問8	答え 明治天皇	明治天皇は、江戸時代から明治時代への転換期において、新しい近代国家の象徴として位置づけられました。1868年、新政府が掲げた「五箇条の御誓文」を神前で読み上げ、全国に新しい国づくりの方針を広く示しました。
問9	答え 廃藩置県	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。全国の藩を廃止して府や県に改め、中央から政府が選んだ官吏である知事を派遣することで、国家による直接統治を実現しました。
問10	答え 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問11	答え 富国強兵	明治政府は「富国強兵」を国家の基本政策に掲げました。経済面では殖産興業を進めて資本主義の土台を作り、軍事面では徴兵令などを通じて近代的な軍隊を創設しました。
問12	答え 男女すべて	1872年に発布された学制では、6歳以上の男女すべてが小学校に通うことを原則としました。これにより、封建的な身分制の枠を超え、国家の構成員としての国民を育成する方針が示されました。
問13	答え 府知事	明治政府は東京・京都・大阪などの主要な都市を「府」とし、そこを治める長官として府知事を任命しました。また、その他の地方は「県」とされ、同様の役割を持つ県令が派遣されました。これらは中央政府の命令を地方に伝える行政の末端機関としての機能を持ちました。
問14	答え 函館	
問15	答え 大政奉還	1867年、江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜は、朝廷に対して政権を返上しました。これにより260年以上続いた江戸幕府は終わりを迎えました。慶喜は政権を返上することで、天皇を中心とした新しい政府の中でも自身の政治的地位を維持しようとする狙いもありました。
問16	答え 独立	明治政府にとって最大の目標は、国家の独立を守り、欧米諸国と対等な立場に立つことでした。そのために、政治、経済、軍事のすべてにおいて近代化を急ぎ、西洋の新しい知識や技術を積極的に取り入れました。
問17	答え 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問18	答え 帯刀	1876年の「廃刀令」により、公務中を除き士族が刀を腰に差すこと（帯刀）が禁止されました。これにより、武士の象徴が取り払われ、士族と平民の身分的な境界が形式的にも解消されました。
問19	答え 1871年	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。藩を完全に廃止し、中央政府が任命した府知事や県令が地域を治める体制へ移行しました。これにより、地方の力は中央へと集中されることになりました。
問20	答え 殖産興業	政府は最新の機械や技術を輸入し、官営模範工場を建設するなどしてモデルとなる産業を育成しました。また、交通網としての鉄道や電信の整備も積極的に行い、民間企業の成長を後押ししました。
問21	答え 五箇条の御誓文	1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。